

化学物質管理と リスクコミュニケーション

旭硝子(株)鹿島工場

環境安全部環境管理GL 宮寄俊幸

2008年2月1日

本日のご説明内容

1.会社紹介

- ・旭硝子(株)の概要
- ・鹿島工場の概要

2.化学物質管理

- ・工場運営方針
- ・4つのマネジメントシステムと化学物質管理
- ・大気排出量の削減実績と計画

3.リスクコミュニケーション

- ・鹿島臨海工業地帯19社の協同
- ・東部地区コンビナート全24社の協同
- ・旭硝子の活動

1. 会社紹介

旭硝子(株)の概要

- ・設立: 昭和25年(1950年)6月1日(創立:明治40年(1907年)9月8日)
- ・資本金: 904億80百万円
- ・関係会社: 連結子会社:239社(うち海外176社) (2006年12月期実績)
- ・従業員数: 54,228人
- ・売上高: 1兆6,205億円(営業利益1,366億円)

板ガラス・自動車ガラス	8,153億円(50%)
ディスプレイ・電子	4,766億円(29%)
化学品	3,076億円(19%)
その他	841億円(5%)

板ガラス



自動車ガラス



ディスプレイ



電子



化学品



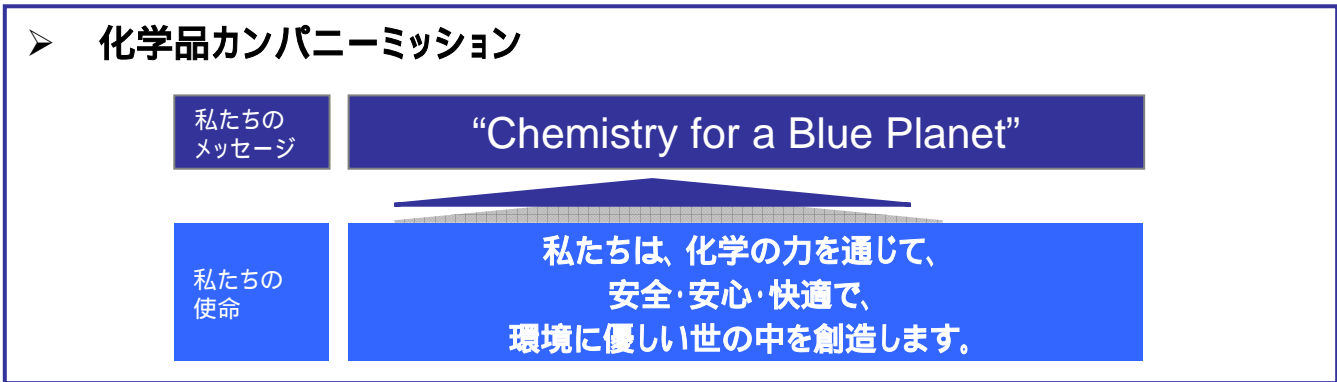
1. 会社紹介

鹿島工場の概要

- ・所在地： 神栖市東和田（東部地区 石油化学コンビナート内）
- ・設立： 1974年（国内8番目の工場）
- ・敷地面積： 83万m²
- ・従業員数： 社員 約650名、パートナー会社 約1,400名
- ・主な生産品目： 板ガラス（フロート板ガラス、鏡、熱線反射ガラス、複層ガラス、合せガラス、強化ガラス他）
化学品（苛性ソーダ、クロロメタン類、ウレタン原料、フッ素樹脂、代替フロン他）

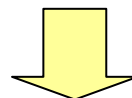


工場運営方針



化学物質の取扱状況

区分	取扱量等	PRTR対象物質に該当する製品
PRTR対象物質	取扱量 = 25万t/年 届出物質 = 24種類	酸化プロピレン、HCFC-22、クロロホルム、クロロメタン HCFC-225、ジクロロメタン、フッ化水素
危険物(第4類)	貯蔵量 = 4万k	酸化プロピレン
高压ガス	処理量 = 600万Nm3/日	HCFC-22、クロロメタン



環境・安全・保安が最優先の工場運営

2. 化学物質管理

4つのマネジメントシステムと化学物質管理

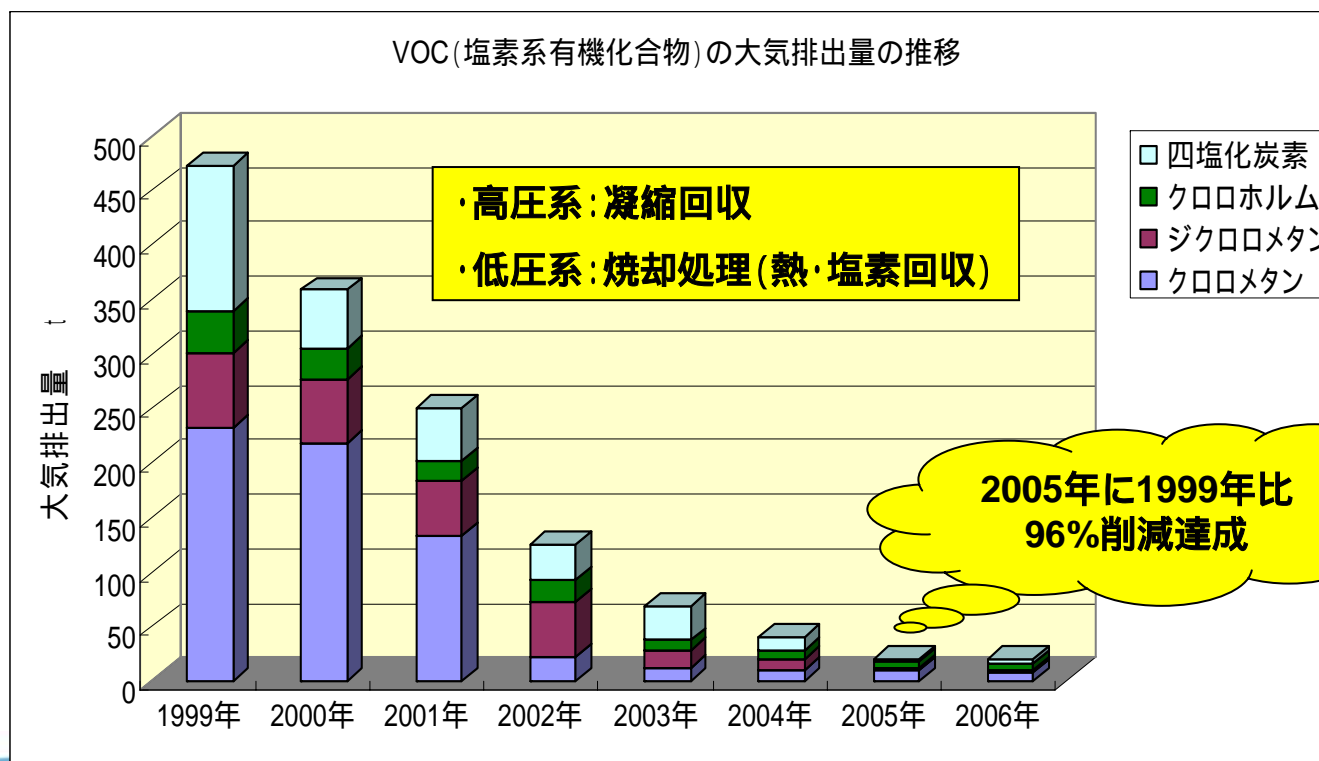
	化学物質管理に係わる主な活動	規格等
EMS (環境) Environmental Management System	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価 ・大気排出量の削減、環境汚染の予防 	ISO14001 (2004)
OHSMS (安全) Occupational Health and Safety Management System	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメント、リスク低減処置 ・MSDS管理 	厚生労働省指針 (2006)
SEMS (保安) Security and Emergency Management System	<ul style="list-style-type: none"> ・危険性評価、RBM(リスクベースドメンテナンス) ・危機管理と訓練 	高圧ガス認定事業所の告示 (2006)
QMS (品質) Quality Management System	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の品質 ・業務、各MSの品質 	ISO9001 (2000)

関係法令の順守評価

高圧ガス認定完成検査実施者及び高圧ガス認定保安検査実施者の認定に係わる事業所の基準を定める告示

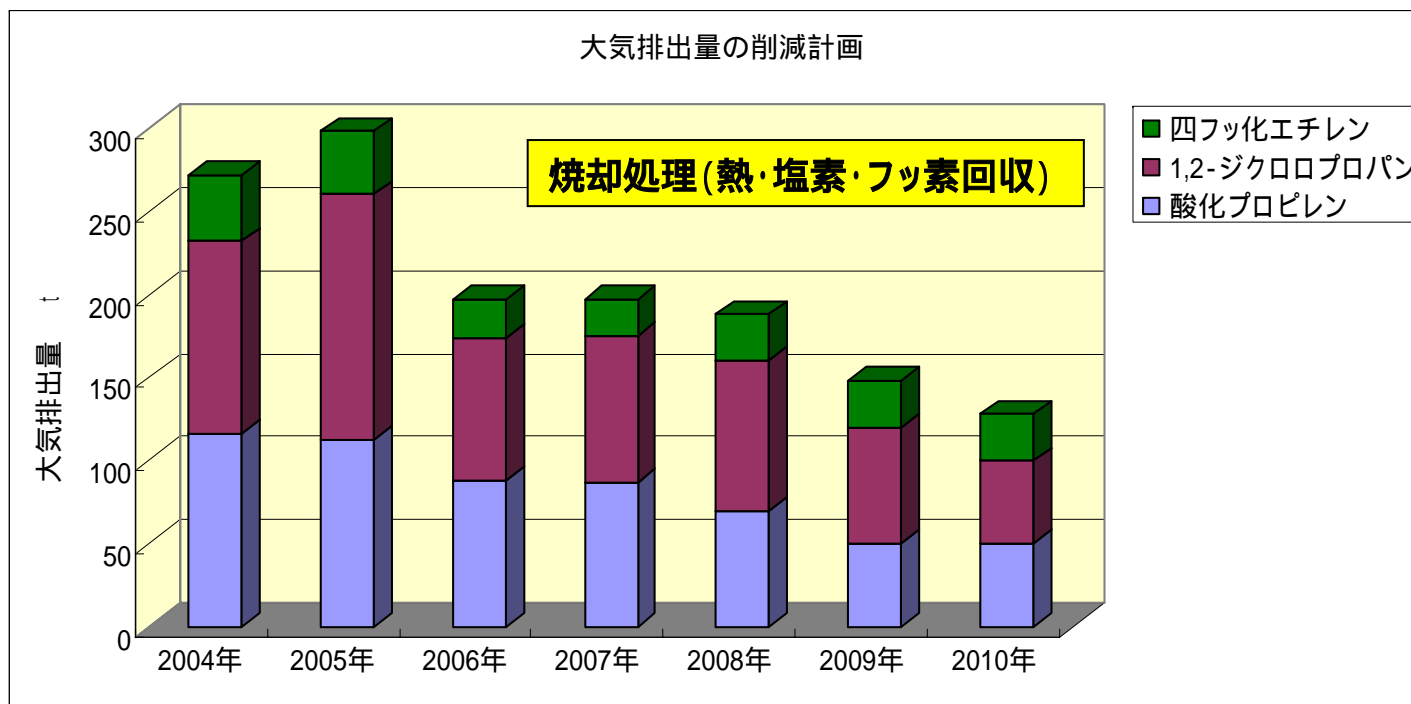
大気排出量の削減実績と計画

1997年より(社)日化協のパイロット事業に参加し、VOC(塩素系有機化合物)の大気排出量を削減しました。



大気排出量の削減実績と計画

2004年に削減対象物質を4つの指標
(環境負荷、健康リスク、地域への影響、大気排出量ランキング)
で見直し、新たに3物質の削減に着手しました。



リスクコミュニケーション (鹿島臨海工業地帯19社の協同)

RC地域対話

RC(レスポンスブル・ケア)地域対話の歩み

	開催年月	参加者数 (名)					主な内容
		合計	地域 住民	行政	企業 団体	会員 企業	
第1回	1996年5月	86	0	29	30	27	・企業紹介、行政挨拶
第2回	2000年11月	96	8	20	15	53	・会員企業報告:5社、行政挨拶、JRCC活動説明 ・質疑、意見交換
第3回	2003年2月	134	17	28	26	63	・会員企業報告:5社、行政挨拶、JRCC基調講演 ・質疑、意見交換、アンケート
第4回	2005年2月	125	34	22	13	56	・会員企業報告:5社、行政挨拶・報告、JRCC基調講演 ・質疑、意見交換、アンケート
第5回	2007年2月	115	27	19	26	43	・会員企業工場見学:2社、地域対話の歩み紹介 ・会員企業報告:3社、行政挨拶・報告 ・質疑、意見交換、アンケート

地域行政委員(区長) = 14
 婦人会 = 8
 学校関係 = 5

リスクコミュニケーション (鹿島臨海工業地帯19社の協同)

RC地域対話

第5回RC地域対話(2007年2月23日)



工場見学(旭硝子(株)鹿島工場)

排水処理、職場環境、緊急時の連絡方法等について質問が出て丁寧に回答しました。



地域対話での全体質疑応答

学校関係者から出前授業や工場見学会への企業の協力に対するお礼が述べられました。

リスクコミュニケーション (東部地区コンビナート全24社の協同)

定修説明会

定修とは

東部地区コンビナートは、毎年5~6月頃に一斉に設備を停止して定期修理(定修)を実施します。

ピーク時には約2万人の工事業業者の方がコンビナート内に入ります。



定修説明会

定修説明会とは

東部地区コンビナートの全24社が協同で、定修説明会を実施しています。工事概要、安全対策、地域対策等について説明すると共に、要望事項を伺って改善を図っています。

リスクコミュニケーション (旭硝子の活動)

リスクコミュニケーションの方針 企業市民として地域と共存共栄

大型工事の事前広報

騒音、振動等の環境影響が予想される大型工事について、事前に工事内容を広報しています。

ネガティブ情報も公開

自主調査の結果、土壌地下水汚染が分かり、2006年4月26日にプレスリリースしました。 <http://www.agc.co.jp/news/2006/0426.pdf>
併せて近隣行政区、公官庁等を訪問しプレスリリース内容を説明した結果、プレスリリース後の問い合わせ等はありませんでした。

ご清聴ありがとうございました